

1. 動機(経緯)	<p>当金庫取引先へのアンケート実施により、事業承継が経営課題の一つとなっていることが浮き彫りとなった。事業承継については、企業個々で問題が異なり、法務・税務面からの検証、株式の拡散問題、また後継者候補の検討等多岐に亘り、総合的な相談ニーズが潜在している。事業所数の減少は、地域経済に与える影響が大きく、地域金融機関として事業承継の支援を行っていく必要性は高い。</p>
2. 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業承継・M&Aセミナー」を平成16年より隔年で開催(計3回)、毎回100人を越える出席者があり、関心の高さがうかがわれる。 ・職員向勉強会を開催(支店長向研修は隔年で3回実施したが、今年度は現場管理者向に3回行い、計149名の職員が参加した。 ・後継者への承継支援(事業承継計画の策定、後継者への株式集中、株価引下げ策の提案等)。 ・後継者不在企業のM&A仲介支援。
3. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者への承継支援(コンサルティング)実績 平成19年度24件、附随融資450,000千円。平成20年度上期53件、附随融資118,000千円。その他手数料も獲得した。 ・M&A仲介業務:平成18年度アドバイザー契約件数9件、成約件数3件、附随融資額120,000千円、手数料42,787千円。平成19年度アドバイザー契約件数22件、成約件数10件、附随融資額382,000千円、手数料42,275千円、平成20年度上期アドバイザー契約件数19件、成約件数7件、附随融資額452,000千円、手数料39,112千円。
4. 今後の予定(課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景気低迷による廃業企業数の増加。 ・ " 財務内容悪化先への再生支援業務の増加。

浜松信用金庫の事業承継支援の取組み

事業承継の形態

親族内承継

- ・ 事業承継計画の策定支援
- ・ 株式・事業用資産の分配
 - ① 株価試算
 - ② 株価引下げ策の提案
 - ③ 相続税試算
 - ④ 会社法の活用提案
 - ⑤ 遺言(信託)の活用提案etc

従業員等への承継 外部からの招聘

M&A

- ・ 譲渡価額の算定
- ・ 会社の磨き上げ
- ・ 譲受希望企業の紹介
- ・ アフターM&A
コンサルティング
etc